

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ばんびくらぶ		
○保護者評価実施期間	令和7年12月8日		～ 令和8年1月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年12月8日		～ 令和8年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	母子愛着を大切にした親子支援	<ul style="list-style-type: none"> ・親子でのあそびや活動プログラムがあります。 ・保護者交流として学習会（ペアレント・トレーニング、アンガーマネジメント）や座談会があります。 ・家族で参加できるファミリーデーを設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就学についてなど保護者のニーズに応じた子育て支援や家庭支援に取り組みます。
2	ムーブメント教育・療法を取り入れた支援プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・からだ、あたま、こころの発達を目的としたあそびを中心に取り組んでいます。 ・パラシュート、トランポリンなどの遊具は子どもたちに好評です。 ・職員は、ムーブメント教育・療法指導者資格を取得しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の興味や意欲を引き出しながら、コミュニケーションや社会性を育む取り組みをします。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携、特に近隣の園との交流が難しい状況です。	<ul style="list-style-type: none"> ・合同企画や単独企画での子ども向けのイベントなど、開催するには日程調整や経費などの問題から困難である。 	
2	積極的なSNSでの情報発信が難しい状況です。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやLINEを使っでの情報発信をしています。 ・LINEでは、写真やおたよりなどを送信したり連絡ツールとして使用しており、保護者にも好評です。 	
3			